

感じます
木のぬくもり

完成した平泉寺保育所



広報

かつやま

'93 4/8

№ 449

4

発行 福井県勝山市 編集 秘書広報課
〒911 福井県勝山市元町1丁目1-1
TEL:0779-88-1111 FAX:88-1119



4月14日開通式を迎える『勝山南大橋』

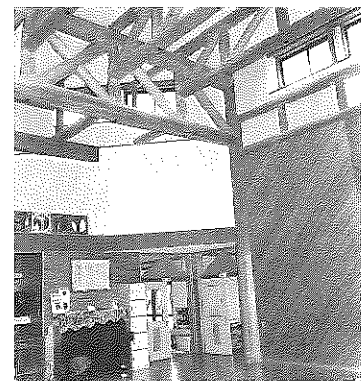
しっかりと明日につなげたい 予算総額は187億円

平成5年度の予算規模

前年度当初比

一般会計	115億6,500万円	(0.4%増)
特別会計	64億4,297万円	(7.8%増)
企業会計	6億9,985万円	(15.7%減)
合計	187億0,782万円	(2.1%増)

平成5年度の勝山市当初予算案が三
月定例市議会(三月九日開会、同月二
十五日閉会)で決定されました。
予算規模は、歳入歳出とも前年度当
初額に比べ三億八千七十万円多い総
額百八十七億七百八十二万円となりま
した。伸び率は二・一%です。
内訳は一般会計が百十五億六千五百
万円(前年度当初比〇・四%増)、特別
会計六十四億四千二百九十七万円(同
七・八%増)、企業会計六億九千九百
八十五万円(同一五・七%減)です。
一般会計予算の伸び率は、前年度対
比〇・四%の増に留まりましたが、土
地区画整理や下水道など特別会計を含
めた全体では二・一%の伸びとなり、
国の地方財政計画の二・八%に近いか
たちになっています。



▲表紙写真は、移転改築した市立平泉寺保育所。木造平屋建てで広さ360平方メートル。遊戯室には、大きな杉の大黒柱が立ち、吹き抜けの天井には、梁(はり)がむき出しにしてあります。園児たちに、木のぬくもりが感じられるよう工夫してあります。

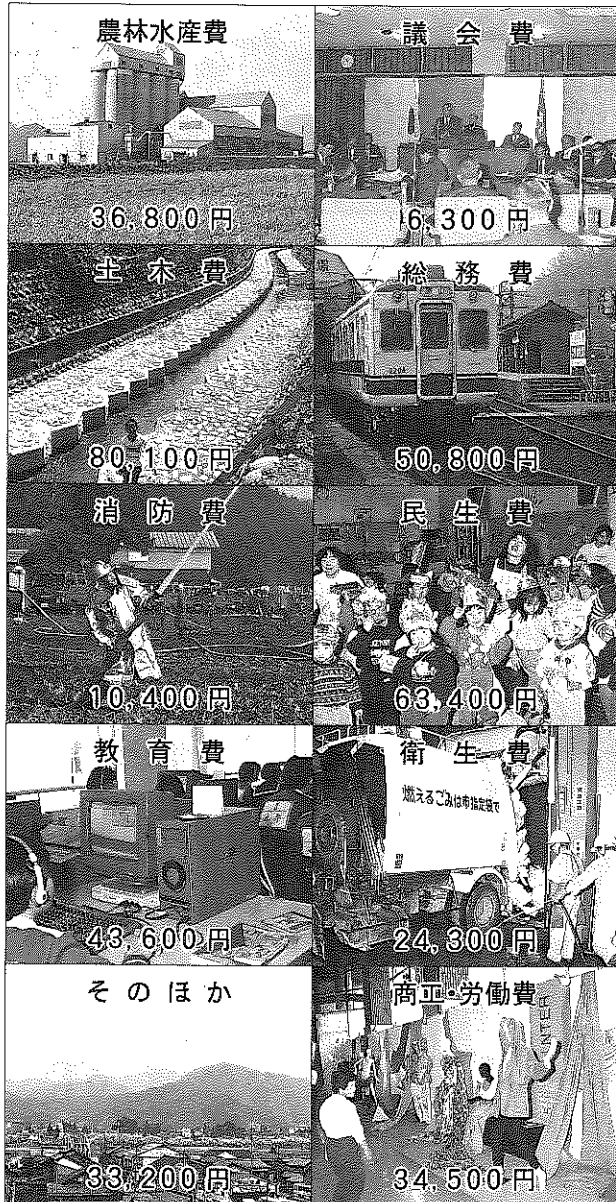
財源の確保

財源の中心となる市税収入は、法人
市民税の減収などにより、前年度対比
七・〇%減の三十四億九千八百五万円。
歳入全体の三〇・三%を占めています。
国からの地方交付税は、過年度清算
などもあり五四・〇%増の三十一億一
千二百万円を見込みました。一方、各
種事業の見直しを徹底的に行うと共に、
一般経常費を一〇%カットし、事務経
費の節約を図りました。
下水道特別会計の赤字分五億七千二
百万円は、財政調整基金から繰り入れ
て財源を確保しました。

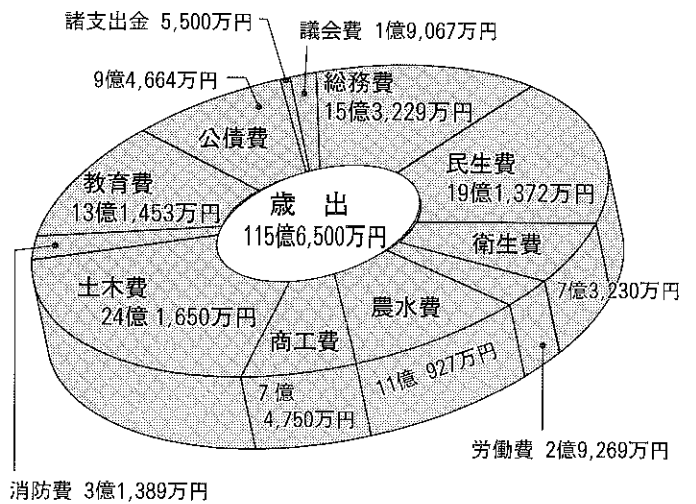
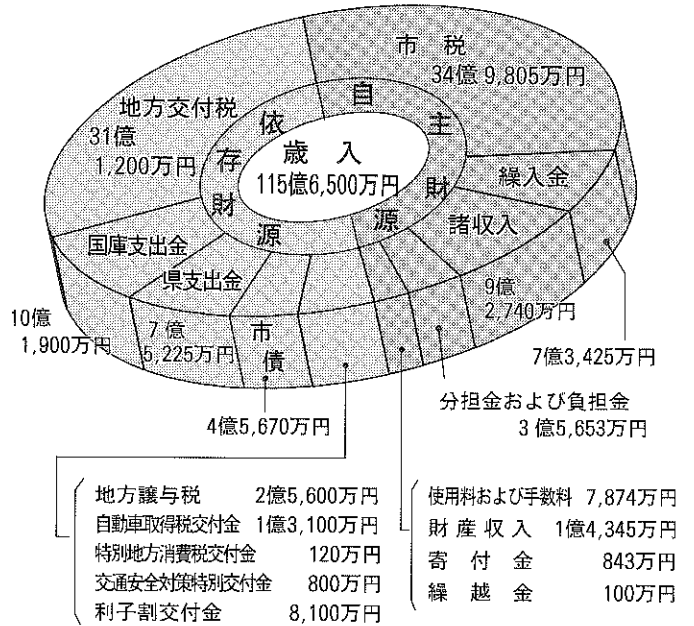
市民一人あたりに 使われる予算 (一般会計)

約38万3,400円

(3月1日現在の人口で計算)



● 一般会計

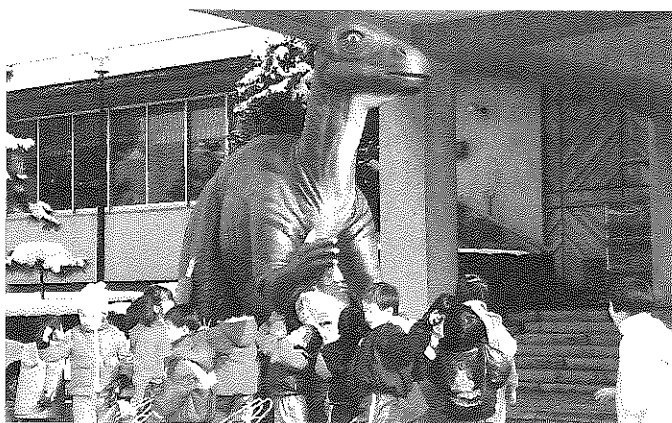


一般会計

一般会計の当初予算額は百十五億六千五百万円。前年度対比〇・四％の伸びとなりました。

歳出面では、法恩寺山リゾート関連事業費を三億一千六百三十九万円計上し、事業促進を目指します。長尾山総合開発は九千万円をかけて基本計画書を策定していきます。

そのほか、元町、元祿線の街路事業や文教施設の整備、老人デイサービスの充実、地場産業の振興、新規事業の京福電車利用促進対策、国際交流員の配属、ふれあい人口推進事業などに取組んでいきます。



▲ 市民会館前のイグアノドン (ふくい竜)



今井市長は、三月定例市議会での新年度予算編成にあたり、次のように述べました。

「厳しく変化する社会情勢の中で、地方公共団体の果たす役割は、ますます増大してきています。こうした中、地方財政に関しては、石油危機以来ともいわれる税収の大幅減少に加え、地方交付税の減額措置がとられるなど厳しい運営を迫られています。

本市の財政状況は、昭和六十三年以降、一部企業の法人税増収により弾力的な財政運営が可能でしたが、今後、これらの税収も平常化する見込みです。平成四年度末の市債借入残高は、約七十六億円に達し各特別会計への繰出金も増加の一途をたどり、たいへん厳しい状況にあります。このような状況の中で、市長就任以来、市政運営の基本として次の四本の柱を掲げて市政を推進していきます。

過去10年間の当初予算の推移

	一般会計	特別・企業会計	総額
S59年度	76億0,792万円	54億4,552万円	130億5,344万円
60年度	70億5,833万円	44億1,081万円	114億6,914万円
61年度	76億0,290万円	46億3,537万円	122億3,827万円
62年度	80億7,600万円	45億0,900万円	125億8,500万円
63年度	87億9,200万円	45億6,900万円	133億6,100万円
H元年度	91億7,300万円	53億0,120万円	144億7,420万円
2年度	110億3,445万円	54億0,874万円	164億4,319万円
3年度	114億8,700万円	60億7,315万円	175億6,015万円
4年度	115億2,000万円	68億0,613万円	183億2,613万円
5年度	115億6,500万円	71億4,282万円	187億0,782万円

- ① だれでもが住みたくなる
安全で豊かな生活環境の整備
- ② すべての人が安心して生活できる
社会福祉の充実
- ③ 明日の勝山を背負う人材の育成と
教育・文化・体育の振興
- ④ 二十一世紀を目指しての産業の発展
と新産業の開発と併せて観光都市の
実現

以上、予算編成にあたっては、四本の柱に限られた予算を重点的配分をいたしました。

● 特別会計・企業会計

特別会計	5年度予算額	対前年度当初比
① 勝山温泉センター会計	8,921万円	37.6%増
② 市有林造成事業会計	7,799万円	61.1%減
③ 育英資金会計	3,511万円	8.2%増
④ 国民健康保険会計	14億9,516万円	12.8%増
⑤ 国民健康保険鹿谷直診勘定会計	927万円	16.1%減
⑥ 老人保健会計	20億4,640万円	2.5%増
⑦ 農業集落排水事業会計	3,430万円	皆増
⑧ 土地区画整理事業会計	9億6,655万円	11.5%増
⑨ 下水道事業会計	15億8,432万円	11.5%増
⑩ 簡易水道事業会計	1億466万円	81.6%増
計	64億4,297万円	7.8%増
企業会計		
① 水道事業会計	6億9,985万円	15.7%減

勝山温泉センター会計など特別会計の総額は、六十四億四千二百九十七万円の前年度対比七・八%の伸びとなりました。今年度から、農業集落排水事業特別会計を新設し、農村部の下水道事業に着手し環境にやさしいまちづくりをす

めていきます。企業会計の水道事業会計は、六億九千九百八十五万円(前年度対比一五・七%減)としました。

特別会計・企業会計
農業集落排水事業会計を新設



▲桜づつみ事業=名勝弁天桜並木を延長。5年度は、勝山南大橋下流で用地確保。

たれてもが住みたくなくなる
安全で豊かな生活環境の整備

長尾山開発の基本計画策定

道路網の整備

中部縦貫自動車道については、福井～勝山～大野間の二十六・四キロが国の直轄事業に組み入れられ、早期実現へ向け大きく前進するものと期待しています。法恩寺山リゾート事業が完成する平成八年度までには、一部開通できるように関係機関へ働きかけていきます。

国道一五七号バイパス、東縦貫線は全線開通し、今後、一部残っている二車線区間の解消に努めていきます。長

山トンネル本体については、工事着工に向けての事前調査が行われます。

国道四一六号については、「小松・勝山間ずい道開さく促進期成同盟会」が中心となって石川県境の未開通区間解消のため、今後も早期着工を国や関係機関に強く要請してまいります。

県営広域農道における「蓬生坂トンネル」は昨年七月に開通、「勝山南大橋」は今年四月十四日に開通式が行われ、大袋地区と高島地区が結ばれます。五年度は北郷、平泉寺地区で道路改良がすすめられます。

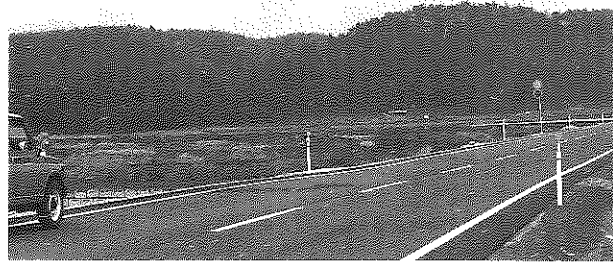
橋梁関係では、寺尾地係で国道一五七号バイパスと集落を結ぶ橋が建設されます。

ゆきふれあい事業

雪に強いまちづくりを目指し、引き続き流雪溝の整備や屋根融雪化に対する補助をしていきます。雪と親しむ「ゆきふれあい事業」を来年一月に予定しています。

長尾山総合開発

都市計画事業は、元禄線、元町線などの街路事業に三億三千七百五十万円、



▲国道157号バイパス完成 郡町と暮見を一直線で結ぶ(後方は長尾山)

猪野瀬土地区画整理事業は、九億六千六百五十五万円をかけ、平成十年の完成を目指します。

長尾山総合開発は、約百四十ヘクタールの測量調査を引き続き行い、具体的な基本計画書を策定してまいります。その経費九千百万円を計上しました。その全体計画は、丘陵地にスポーツエリアや恐竜関係施設、研究・研修施設、住宅ゾーンを平成七年度から一部着手する予定です。

名勝弁天桜を大渡までつなぐ「桜づつみ事業」は、勝山南大橋、九頭竜川右岸の上・下流で測量や用地取得、造成、植栽を実施してまいります。

●主な事業●

● 道路整備事業	(☆印は新規事業)	● 急傾斜地崩壊対策事業(平泉寺・長山地区)	1,500万円
市道改良・舗装事業	3億2,498万円	● 防災避難場所の標識設置事業市内10カ所	250万円
克雪事業(流雪溝整備、屋根融雪化事業など)	3,800万円	● 公共交通機関対策	
道路改良舗装県営事業負担金	5,000万円	生活路線バス運行維持補助金	1,624万円
交通安全施設整備事業(カーブミラー設置など)	880万円	京福電車利用促進	2,115万円
道路補修事業	5,629万円	● 防災まちづくり事業(防火水槽・可搬式ポンプ購入)	2,355万円
中部縦貫自動車道推進費	280万円	● 下水道事業(下水管渠敷設工事)	4億3,906万円
● 水路改良・補修事業	6,820万円	● 農業集落排水事業	3,430万円
● 都市計画事業		● 合併浄化槽設置補助金(15基)	1,281万円
街路元禄線・元町線事業	3億3,750万円	● 上水道拡張および改良事業	2億7,887万円
猪野瀬土地区画整理事業	9億6,655万円	● 廃棄物処理施設修繕工事ほか	5,520万円
● 長尾山開発事業	9,100万円	● 雇用促進住宅駐車場整備	4,744万円
● 桜づつみ整備事業(勝山南大橋下流)	2,500万円	● 地区街灯電気料補助金	☆ 180万円

快適な暮らし

快適な生活を営むための上・下水道事業および合併処理浄化槽設置の補助を引き続き実施し、生活環境の充実に図ってまいります。五年度は市単独の五基を含め十五基の予定をしています。

農業集落排水事業は、今年度から栃神谷・葉師神谷地区で実施します。

市民の健康を守るため、健康モデル地区の指定や成人病検診体制の充実を図ってまいります。

環境衛生面では、さらにゴミの資源化、減量化に努めてまいります。

市民の足となる生活路線バスの運行維持補助金に千六百二十四万円を予算化。新規事業として、京福電車利用促進に二千百五十万円を計上。勝山駅駐車場の駐車台数を現在の約三倍の百五十台駐車可能に整備してまいります。また、京福電車の利用拡大を図っていくために回数券購入額の二割を助成してまいります。

市民の生命と財産を守る防災関係では、平泉寺、長山地区でナグレ、ガケ崩れ対策として防護壁、防護柵を設置します。そのほか、消防施設整備や防災まちづくり事業などに取り組んでまいります。

新規に街灯電気料補助として、各地区が管理している約二千九百灯に対し、電気料金の三〇%を補助してまいります。

すべての人が安心して生活できる社会福祉の充実

高齢者住宅に改造費を助成

デイサービスを充実

高齢化社会に対応し、在宅福祉など高齢者福祉の充実を図ってまいります。老人医療への対応をはじめ施設入所、老人デイサービス、短期保護、介護者への激励、雪おろし支援などを充実させてまいります。

老人デイサービス事業は、さくら荘など二カ所の施設に委託。

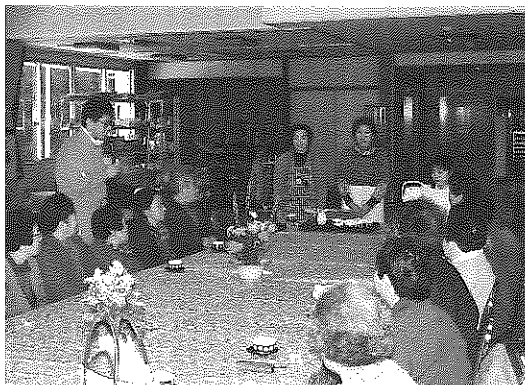
新規事業として、高齢者やからだの不自由な人の住宅改造に対し、一戸九十万円を限度に助成してまいります。

一方、高齢者の豊富な人生経験や知識を社会で活かしつつ、健康で心豊かに暮らせるよう、シルバー人材センターの充実に努めます。

地域福祉の充実を図るため、地区社会福祉協議会の設立をすすめています。これまで遅羽、鹿谷の二地区で地区社協が発足。五年度は七地区での設置を予定しています。

ふれあいの里・かつやまっ子

第四子以上の乳幼児への育成奨励金制度を引き続き実施してまいります。こ



▲お年寄りへのデイサービス



▲「ふれあいの里・かつやまっ子」第9・10号認定は、2月26日に誕生した結川隆一、典子さんご夫婦＝本町2＝の2男 敬司ちゃん、3男 博司ちゃんに。

●主な事業●

(☆印は新規事業)

- 勝山温泉センター「水芭蕉」運営費 8,920万円
- シルバー人材センター活動事業補助 (国庫補助☆) 2,280万円
- 福祉基金運用事業 542万円
- 入浴サービス事業(身障者、老人) 102万円
- 短期保護事業(身障者、老人) 748万円
- 地域ぐるみ雪おろし支援事業 93万円
- 福祉タクシー、リフトバス助成費 104万円

- 老人デイサービス事業(さくら荘、九頭竜) 4,752万円
- ねたきり老人等介護者激励 484万円
- 施設入所措置事業(九頭竜ワークショップ、大日園、さくら荘など193人) 5億9,141万円
- 老人医療費 19億8,407万円
- 高齢者住宅等改造助成 ☆ 360万円
- 市指定保養施設助成券発行 1,504万円
- 保健事業(健康教育、健康診査ほか) 5,524万円
- 第4子以上乳児育成奨励金 200万円

れまでに十人に奨励金を贈りました。第四子以上の子どもに、出生、満一歳満二歳時に、それぞれ十万円を贈るものです。少子社会にあって、市民すべてが子育ての喜びを受けられる環境づくりに努めてまいります。

そのほか、保育所施設整備として平泉寺保育所の移転改築が完了し、ネットフェンスなどの工事を行います。

明日の勝山を背負う人材の育成と
教育・文化・体育の振興

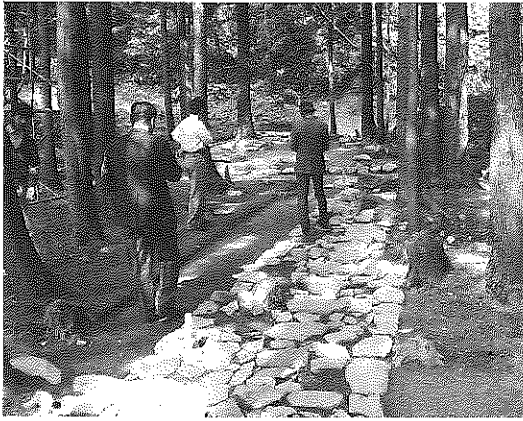
国史跡を目指す平泉寺坊跡

家庭の日を推進

次代を担う青少年の健全育成は、社会が一体となって取り組んでいかなければならない問題です。学校五日制による地域活動を推進していきます。

第三日曜日の「家庭の日」の実践には、いっそうの推進活動をお願いします。

教育施設の整備としては、荒土小学校細野分校校舎の改修や鹿谷小プールの改修、村岡小学校グラウンドの用地取得、勝山中部中学校北校舎の大規模



▲平泉寺坊院跡の発掘調査

改造などを行います。

市民会館では、昨年機能を一新したことから、五年度は映画会開催に取り組んでいきます。年二回程度、子ども向け、一般向けの映画を上映していきます。

国際交流員を配属

国際交流事業の一環として、今年七月の予定で、アメリカから国際交流員を招致します。友好関係にある中国洛陽市への第六次日中友好訪中団を五月下旬から九日間の日程で派遣します。



▲今年も、質の高い音楽を

好評を得ているアスペン音楽祭は、八月三十一日、九月一日の二日間で開催します。初日はマスタークラスのコンサートと市民音楽団体による合同演奏会、二日目はアスペン教授陣による演奏会が行われます。十月には相撲の尾車親方(元琴風)の文化講演会なども予定されています。

平泉寺坊跡を国史跡へ

平泉寺坊院跡調査は、五年目を迎え、発掘調査の最終年を迎えます。これまでに大規模な石敷き道や坊跡、本堂跡などが確認され、大規模な宗教都市が明らかになりました。

五年度は坊院の境界確認や測量調査を行い、地権者の理解を得ながら、国史跡の拡大を関係省庁に申請していきます。

恐竜のまち構想では、これまで多くの恐竜化石が発掘され、日本の恐竜研究の最も重要な舞台となっています。市では、今後とも発掘地周辺の整備など条件整備に努めていきます。

生涯学習活動では、公民館施設の整備や特色ある地域づくり事業を実施していきます。

スポーツの振興については、市宮テニスコートの改修などを行います。

●主な事業●

(☆印は新規事業)

● 国際交流事業	1,414万円	● 恐竜のまち構想推進事業	428万円
国際交流員の設置、日中友好視察団派遣、アスペン音楽祭		● 体育施設整備事業	2,380万円
● 市民会館映画会開催事業	☆ 134万円	市宮庭球場整備ほか	
● 小学校施設整備事業	3,465万円	● 育英資金貸付事業	3,511万円
荒土小細野分校改修工事、		● 特色ある地域づくり事業(1地区25万円)	125万円
村岡小グラウンド用地買収、鹿谷小プール改修		● 学校5日制地域活動推進費	☆ 62万円
● 中学校施設整備事業	2億4,819万円	● 勝山市まちづくり100人委員会	60万円
勝山中部中学校舎大規模改造ほか		● 市立図書館(図書資料購入)	1,000万円
● 第5次平泉寺坊跡調査事業	1,406万円		

二十一世紀を目指しての産業の発展と
新産業の開発と併せて観光都市の実現

大袋北山工業団地優良企業を誘致

農林業の振興

水田農業の振興では、地域に即した農業振興に努めていきます。五年度も、農村総合整備モデル、農村総合基盤整備、高度輪作営農条件整備、水田利用合理化、農用地有効利用モデル集落整備などの諸事業を推進します。

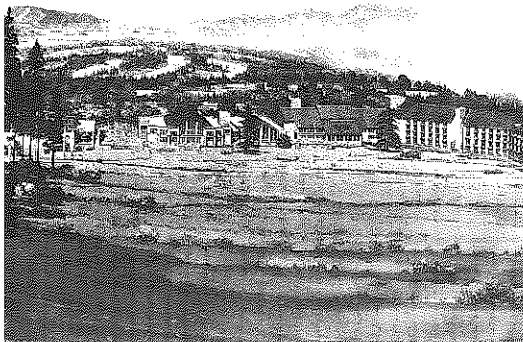
農業生産環境整備のために、団体営農道整備事業、団体営かんがい排水事業などを推進していくとともに、県営広域農道整備事業補助金など各事業補助金にも予算措置をいたしました。



▲進出企業を待つ大袋・北山工業団地

ふるさと特産づくり事業では、ブランド農産物の開発、観光農園の推進、水田景観うるおいの里づくりにも取り組んでいきます。

林業振興では、木材をはじめ林産物供給のための林道開設、改良、舗装の諸事業を推進します。そのほか、林業従事者確保育成基金への出損や優良森林造成事業補助金などに予算措置をいたしました。国産材時代を展望した「国産材加工施設」の建設に向けての調査費二百九十九万円を計上しました。



▲法恩寺山リゾートの完成イメージ図

商工業の振興

企業への融資貸付制度や工業振興助成金などを引き続き予算措置し、商工業の振興に努めていきます。新製品の開発研究、異業種交流にも積極的に取り組んでいきます。

企業誘致では、すでに高島、保田工業団地で六社が進出。五年度は大袋・北山工業団地で二、三社の優良企業の誘致に努め、若者の地元定着を図っていきます。

地元企業・事業所に就職した若者やＵターン者へ奨励金制度も、この二年間に八十一人に達しました。

一方、既存の商店街活性化は急務となっており、商工会議所が中心となって各種委員会が設置され、三月末に「商店街等活性化実施計画書」が報告されたところです。

観光リゾートの推進

法恩寺山リゾート事業は、自然との調和を基本理念に、今冬にスキー場一部開業を目指します。五年度は、有料道路の管理や上下水道関連、環境調査および推進費などに二億一千六百万円を計上。総合保養地整備推進事業でリゾート区域内に森林公園を建設するために一億円を予算化しました。

十二月開業までに、全長四キロのスキーコースやスキーセンター、中間レストハウス、リフト四基、駐車場が完成する計画です。

伝統行事やイベント事業では、恒例

●主な事業●

(☆印は新規事業)

● 法恩寺山リゾート開発推進費	3億1,639万円	● 農道整備事業	2,743万円
● 有料道路管理事業	1億19万円、上下水道関係 9,967万円	● 団体営かんがい排水事業	6,767万円
● 総合保養地地域整備推進事業	1億円など	● 広域農道等県営事業負担金	9,011万円
● 地域整備ダム推進費(負担金)	3,520万円	● 国産材加工施設建設事業(～平成9年度)	☆ 299万円
● ニューメディアコミュニティ構想推進費	51万円	● 林道整備事業(中山線、坂東島、新道横倉線)	3億2,946万円
● ふれあい人口推進事業	☆ 288万円	● 林業振興事業	4,124万円
● ふるさと特産づくり推進事業	3,604万円	● 工業振興助成金	4,185万円
● 花卉産地条件整備、地域特産振興対策、水田景観うるおいの里づくり、特産ブランド化強化、福井米品質向上対策		● 商工・労働関係貸付金	7億5,700万円
● 観光ふれあい農園ほか		● 地元事業所就職奨励金	2,100万円
● 結婚相談連絡協議会補助金	100万円	● 鯉のほりあげ事業	125万円
● 農村総合整備事業(モデル事業、基盤整備事業)	2億1,031万円	● 夏まつり事業補助金	500万円
● 農用地有効利用モデル集落整備事業	1,635万円	● 雪ふれあい事業	500万円
● 奥越地区公社営畜産基地建設事業	1,425万円	● 左義長まつり助成金	390万円
		● 観光施設整備事業(取立山登山道整備、中の平小屋改築)	1,566万円

の夏まつりや鯉のぼり事業、左義長まつりなどに補助してまいります。

法恩寺山腹にある「中の平避難小屋」を全面改築します。ログハウス調の二階建てとなり、今秋に完成の予定です。

水芭蕉群生地へ至る、東山く取立山ルートの登山道(約三キロ)は、残り一・四キロを整備します。

ふれあい人口五万人を推進していくために、五年度から県外に住んでいる勝山市出身者に対し、広報紙など「ふるさと情報」を提供してまいります。千五百人を対象にスタートします。

ふれあい人口推進事業

ふれあい人口推進事業

ふれあい人口五万人推進事業として、当市出身者約千五百人の皆さんに、ふるさと情報として広報紙を送っています。対象者は、県外で組織されている勝山会や県人会などの会員名簿を照会しながら実施しています。

五年度においても、広報紙などを通じて、市の情報やイベント案内を行ってまいります。そこで、市民の皆さんから、県外にいるご兄弟やご親戚のかたをご紹介ください。趣意書と共に、毎月広報紙をお送りさせていただきます。

問い合わせは企画開発課(☎0779-188-1111内線2336)へ。

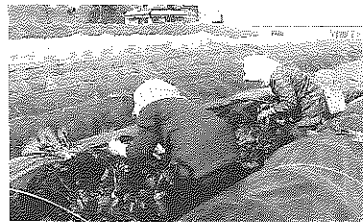
白山国立公園昇格三十周年記念冊子を発行

白山・平泉寺 自然と歴史



教育委員会は、昨年行われた昇格三十周年記念行事の一つとして、冊子「白山・平泉寺自然と歴史」を作成。市内の小学五、六年生と中学生に配りました。冊子は、B五判、四十九ページで、白山などの植物紹介や平泉寺の歴史、そして現在おすすめられている発掘調査報告などが、児童・生徒にわかりやすく書かれています。

問い合わせは教育委員会生涯学習課(☎88-1111代)へ。



晴れの受賞 全国表彰・農水省構造改善局長賞

優良区に勝山地区

三月十五日、勝山地区(猪野口、若猪野、高島、猪野、片瀬、岡横江の六集落)が地域ぐるみの農業構造改善事業の推進を高く評価され、本県初の受賞となりました。

同地区では、加工処理施設が設置され、特産物の水菜、里芋等を冷凍加工しているほか、冷水カーテンハウス利用の二期穫りいちごの生産等ユニークな事業を実施

施。担い手の育成や複合経営への脱皮に向けても積極的に取り組んでいます。

荒土町別所営農組合 低コスト化で最優秀賞

二月十七日の県福井型農業推進大会において、別所営農組合が「低コスト稲作モデル集落選奨事業表彰」で最優秀賞を受賞しました。同組合は、転作の団地化、特産里いも栽培による高度輪作農法などが評価されました。

北鉄バス、金沢から勝山に 一日一往復の運行



▲バス発車式で、廣田市議会議長ら

北陸鉄道(株)(織田廣社長、本社金沢市)では、三月二十一日(日)に勝山から白峰経由、金沢駅までのバス運行を開始しました。期間は十二月十二日(日)まで運行され、一日一往復です。運賃は、金沢駅まで大人千七百円、小学生は八百五十円。白峰までは七百円と三百五十円。

運行時間は、勝山サンプラザ前を午前八時二十五分に出発し、金沢駅に午前十時四十五分到着。帰りは、金沢駅前午後五時二十分発で、勝山着が午後七時五十分です。

三月二十一日、午前八時から勝山サンプラザ前で発車式が行われ、織田社長をはじめ石川陸運支局、勝山市、白峰村の各代表者が出席。今後、勝山市と金沢市や白峰村との文化、観光面での交流が深められればと、開通に期待することは寄せられました。この日の一番バスには、市民ら約二十五人が乗り込みました。

議会報告 3月定例会

5年度予算など45議案を可決

三月定例会市議会は、三月九日から十七日間の日程で開会。平成五年度一般会計予算、特別会計予算など四十五議案を原案通り可決。陳情・請願は十四件を採択、意見書一件を可決して二十五日に閉会しました。

可決した主なもの

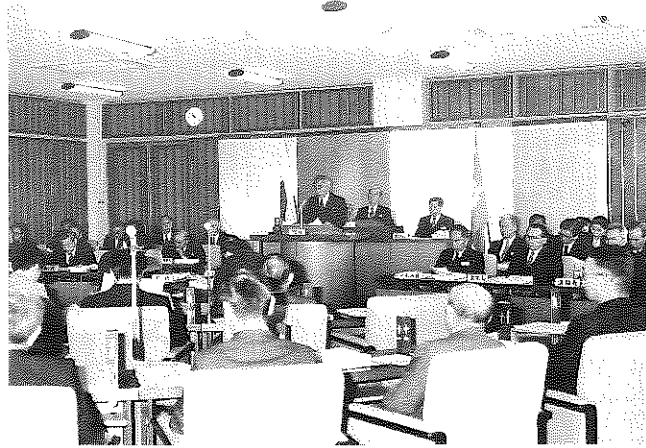
◎予算関係

●平成五年度一般会計、特別会計予算など十一件

それぞれ二億八千九百六十九万七千円を追加し、総額百三十二億六千七百二十一万一千円としました。

●平成四年度一般会計など補正予算九件を可決。

歳出で主なものは、ふるさと融資老人保健施設(鷺巣苑)整備事業一億円や財政調整基金積立金一億二千二百



▲ 所信表明をする今井市長

二十万九千円などです。特別会計は一億三千四百四十六万七千円を減額し、合計六十億七千五百六十九万九千円としました。企業会計は、三百九十一万三千円減額し、六億七千七百四十六万一千円としました。

◎条例の制定・改正

●職員定数条例の一部を改正し、消防職員の定数を「三十三人」から「三十七人」としました。

●特別職の給与及び旅費に関する条例の一部改正しました。()内は旧

市長は月額八十七万七千円(八十万円)、助役七十二万(六十七万七千円)、収入役六十三万(五十九万七千円)。

議員報酬は議長四十一万(三十八万七千円)、副議長三十五万(三十三万七千円)、議員三十三万(三十一万七千円)としました。

●教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正し、「月額五十一万七千円」を「五十四万七千円」としました。

●ふれあい会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正し、視聴覚研修ホールの使用料を定めました。

●市税条例の一部を改正し、都市計画税の課税対象区域を見直すものです。

●各種証明書交付手数料などの徴収条例を一部改正しました。(別途掲載)

●消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を改正し、定員を「285人」から「299人」としました。

●勝山都市計画下水道事業受益者負担に関する条例を一部改正、排水区域を追加し負担金額を定めました。

●水道水源保護審議会の設置条例を制定しました。水源保護、保護地域の指定に関する調査などを行います。

●東山いこいの森、雁が原青少年旅行村の施設使用料金を引き上げました。

●市立平泉寺保育所の移転改築に伴い、設置場所を「平泉寺町平泉寺第一六四号四五番地甲」に改めました。

●交通遺児年金支給条例を一部改正し、年金額「一万円」を「二万円」としました。

●市立学校設置及び管理条例を一部改正し、「栃神谷冬期分校」、「小原分校」を廃止しました。

◎陳情・請願
市民野球場の早期建設や、特養老人ホーム増床に対する支援など十四件を採択しました。

◎意見書
「だれもが医療保険で、良い入れ歯を入れられるように歯科診療報酬の義歯保険点数の改善を求める意見書」を関係省庁へ提出しました。

山本助役退任 一期四年間

平成元年四月一日から勝山市助役を務められた山本隆治助役が、三月三十一日をもって任期満了で退任されました。四年間、ごくろうさまでした。現在、助役は空席となり、後任は未定となっています。

代表・一般質問 (要旨)

三月十一日、十二日に代表および一般質問が行われました。代表質問は市政緑風会を代表して佐々木隆也議員と新成会を代表して辻一敏議員が質問しました。

一般質問は、松井拓夫、酒井義博、岩見寿信、野尻佐太郎、嶋田政憲の五議員が市政推進について質問しました。

法恩寺山

有料道路の維持管理について

市政緑風会

代表 佐々木隆也議員

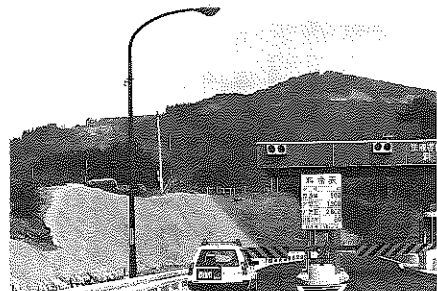
一、法恩寺山リゾート事業について、次の点を問う。

①、バブル崩壊後の開発について、どのように考えているか。

②、有料道路の維持管理は、財政的に堅持できるのか。

市長Ⅱ一の①、バブル崩壊後、各地で撤退、中止が続く中、法恩寺山については計画どおりすすんでいる。

四月早々からスキーセンター、中間レストハウス、リフト四基と残りのスキークオースの造成、緑化工事などが始まる計画。ゴルフ場は平成七年夏の開業、ホテルは八年度の完成予定となっている。



法恩寺山有料道路

雇用については、正職員として初年度に管理部門や電気、索道、重機、ボイラー、料理など各部門の責任者約三十人を採用し、季節雇用は百人前後と聞いている。

工場の他の発注については、地元企業の優先をじゅうぶん会社側に伝える。七十二億円ともいわれる消費額においても、米、野菜など六、七割を地元供給していきたいと考えている。

市長Ⅱ一の②、有料道路の

維持管理を市が行うという合意書があり、県でも協議検討中だが、まだ一定の方策が見つかっていない。

スキー場の一部オープンを目前にしており、五年度に管理費を計上した。今後とも県の助成、協力が得られるまで強力に陳情を重ねていく。

佐々木議員Ⅱ二、元禄線の完成予定と大連寺川パイパス建設の考えを問う。

市長Ⅱ二、元禄線の本町工区は、五年度には寺院の移転先を示し、六年度に移転契約ができるよう努めている。昭和町工区については、早期に地権者のかたがたと移転契約し、順次工事に着手したい。

都市建設課長Ⅱ二、大連寺川のバイパス計画は、県の管理事業であり、昭和六十三年度に計画案が示された。三年度に計画案が示された。四年度にボーリング調査が行われ、種々の検討がなされていると聞く。五年度は、より実施可能な調査を行い、最終案をもって地元へ協力要請をしていきたいとのことである。

佐々木議員Ⅱ三、浄土寺川ダムについて、次の点を問う。

①、水道用水としての一日あたりの取水量はどのくら

いか。また、工事負担額はいくらか。

②、現在と完成後の放水量の比較はどうか。

③、浄土寺川流域の美化対策について。

市長Ⅱ三の①、ダムからの取水量は、一日あたり二千九百立方メートルと取水計画を立てた。ダム工事に對する上水道の負担は、総額五億二千三百万円となる。

市長Ⅱ三の②、美観上必要な水量の確保、既得用水、流雪用水の補給のために計画的な貯水、放水を行い洪水時や渇水時に安定した流量を確保する計画である。

水量の比較は、渇水平均流量で一〇パーセント強増加する。

市長Ⅱ三の③、県の水辺環境整備として、栄大橋から上流ダムまでを順次整備する計画。親水ゾーンやふれあいゾーンなど市民が親しめる水辺空間を造っていく。

大型プロジェクトの相互関連について

新成会

代表 辻一敏議員

一、法恩寺山リゾート、市街地活性化、中部縦貫自動車道インター、駅前開発などの各事業の相互関連について問う。

市長Ⅱ一、法恩寺山リゾートは、雇用拡大をはじめ経済効果をもたらす。市街地活性化については、その具

億九千万円が見込まれる。

この財源として、五年度は利息償還のための起債三億四千万円を借り入れたり、一般会計からの繰入金などでまかなっていく。

今後、現在の事業規模で推移すると、七年度には元利償還金が十億円を超える

と予想され、一般会計への依存度が大きくなっていく。

今後、財政事情をじゅうぶん考慮しながら事業をすすめていきたい。

下水道課長Ⅱ六の①、用途区域内の下水道整備は、一部松ヶ崎、新保などで未整備区域がある。鋭意努力していく。

市長Ⅱ五、勝山市区間の保田地係から大袋地係の七・四キロについては、本線測量、トンネル部、盛土部のボーリング調査が終了した。並行して、各関係集落における設計協議を行い、要望事項が反映できるようお願いしている。

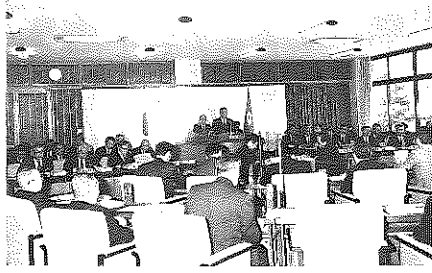
関係する六集落からの要望事項については、市単独でできるものはやっていく。国、県で対応していただくものについては、強力に働きかけていく。

佐々木議員Ⅱ六、公共下水道について、次の点を問う。

①、用途区域内の整備状況はどうか。

②、長期市債(借入金)による財政的影響はどうか。

市長Ⅱ六の②、平成五年度末の起債借入れ残高は、八十七億円、元利償還金は八



体案が三月末に提案される。勝山橋改築は、駅までの県道と橋の計画と一体的に整備をしていく方向にある。

中部縦貫自動車道インターへの取り付けを早く公表するように、県に求めている。

駅前開発は、京福存続と併せ、バスターミナルをつくる中で市街地とリゾート地を結ぶことが、活性化委員会でも検討されている。

今後とも、若者が定着するまちづくりにいっそうの努力をしていく。

辻議員二、法恩寺山有料道路の除雪負担が大きい。県に応分の援助をしてもら

うべきかどうか。市長二、県との合意書があり、一部でも削除していただくよう強力に要望していく。除雪車の購入は、県の支援もあって、国庫補助

で二台購入する。辻議員三、魅力ある農村づくりには、時代を先取りした施策が必要。その対応策を問う。市長三、魅力ある農村とは、農業が産業として成り立ち、農村に生活していることの優位性が実感できるものではないかと思う。当市の圃場整備率は全国レベルを上回っているが、さらに先を考えなければならぬ時代となっている。すでに一町歩単位の大規模区画の圃場づくりが始まっている。これらにも支援をしていきたいと考えている。農業の省力化、低コスト化を行い、産業として成り立つよう共同作業、集落営農、担い手育成などにも力添えをしていく。辻議員四、公共下水道事業について、次の点を問う。①、全体計画の達成は。②、借入金増加で財政を圧迫しているが、その対応について。市長四の①、下水道事業に着手して十六年の歳月がたった。これまでに三回の区域拡張を行い、平成元年に用途区域周辺の四十六集落を公共下水道区域とした。まだ未整備の区域を整備達成するには、相当の期間

と投資が必要となる。全体計画の達成目標の平成十七年度の繰り下げを検討していく。市長四の②、これまで十七年間の借入金に加え、五年度から行う浄化センター増設工事や下水管布設事業を拡大していくと、平成七年度末には借入れ残高は九十億円に達し、元利償還金は十億円を超えると見込まれる。

今後は財政事情をじゅうぶん考慮しながら整備をしていく必要がある。負担解消には、トイレ水洗化の普及率をあげることが重要である。

精神文化の里
構想について
松井拓夫議員一、道路網の整備について、次の点を問う。①、国道四一六号の伊波から市荒川までの四車線化はどうなっているのか。②、長山トンネルの具体的計画について。③、小松・勝山間ずい道開削促進期成同盟会の活動状況について。

市長一の一の①、現在、県および勝山土木事務所と単独事業として、拡幅工事を計画的に実施している。しかし、四車線化については県に要望しているが中部縦貫自動車道建設との関連もあり、まだ計画が示されていない。早期実現に向けて、強く要望していく。市長一の一の②、平成四年度に土質ボーリング調査や一部取付工事を実施。五年度も取付工事やトンネルの基本調査が実施される計画である。本工事には多額の費用が必要のため、国の補助事業でできないか作業をすすめているとのことである。市長一の一の③、二年前に小松・勝山間ずい道開削促進期成同盟会が発足した。大事業となるため、現在、石川県土木部と福井県土木部で検討されている。一日も早く実現できるよう国、県に働きかけていく。松井議員二、精神文化の里構想について、次の点を問う。①、桜づつみ事業について。②、恐竜化石を展示し、市民に開放できないか。市長二の①、第三次総合振興計画の「うるおいのあるまちづくり」構想に取り

組み、事業を推進しているところ。その中に、一昨年から着手している桜づつみ事業がある。勝山南大橋上流右岸二百八十メートルの用地買収が終わり、近く造成、植栽を行う。五年度以降は、南大橋下流で測量委託、用地買収を計画し、現在の弁天桜堤防につきなごたい。

植栽から管理については、家族単位や班単位でお願いし、地域の交流の場となるようにしていきたい。生涯学習課長二の②、恐竜化石の展示については、休校となっている杉山分校を活用したい。恐竜研究会などの協力を得ながら、恐竜教室を開いたり見学者に対するパネル展示や化石の展示をしていきたい。松井議員三、リサイクル運動の集団回収が畷路に立っている。クリーン勝山を目指し何らかの方策を問う。市長三、近年、リサイクル運動が展開され、回収活動が行われている。現況は、回収業界の低迷が続き実益が上らない状況にある。当市の最終処分場においても、毎年六〇パーセント以上を再資源とし、回収業者に有償で引き取ってもらっている状況だ。

全市一斉清掃など環境整備を図りながら、市民の意識高揚に努めていく。松井議員四、中学校の完全給食の取り組み状況について問う。教育長四、昨年三月に中学校給食問題研究協議会を発足させた。学校長、PTA代表、栄養職員などで検討を重ねてきた。結論として、現時点では業者委託方式は変えられない。副食は学級単位で納め、各学級で配食の方法を改善していく。そのために給食備品を整備していく。昨年四月から給食への補助金を引き上げ、特別メニュー日を設けるなど改善してきた。将来的には、給食内容の指導とともに米飯給食、副食のバイキング方式、牛乳の保冷庫設置なども検討していく。

勝山森林公園について
酒井義博議員一、都市景観づくりについて、次の点を問う。①、今後の計画について。②、道路周辺の景観にも配

酒井義博議員一、都市景観づくりについて、次の点を問う。①、今後の計画について。②、道路周辺の景観にも配

慮すべき。

市長Ⅱ一の①、景観づくりについては、市民各界各層の協力で「勝山市景観づくり基本計画」を策定している。この基本計画を受けて、地域に応じた詳細な計画づくりや企業との合意性、広告物の規制・誘導など市民と一体となった取り組みが必要不可欠と考える。

都市景観形成に関する要綱、条例の制定も早期に検討しなければならない。

市長Ⅱ一の②、市街地における景観づくりもじゅうぶんに配慮していく。

酒井議員Ⅱ二、リゾートと国際文化交流について、次の点を問う。

①、豊かな人間性に富んだ人づくりが必要。今後の計画を問う。

②、文化行政を推進していく基金条例設置の考えはないか。

市長Ⅱ二の①、過去二回開催してきたアスペン音楽祭を、文化振興の起爆剤として、人情味豊かな人間性を培っていききたい。企画、運営などもすべて市民ボランティアを中心としている。

今後とも国際文化交流を通じて、知的・文化的資本を充実させ、市民が誇りを持って勝山に住むことがで

き、人の温かさが感じられるまちづくりをすすめていきたい。

市長Ⅱ二の②、現在ある国際交流基金の中などで対応していきたい。

酒井議員Ⅱ三、市のイメージアップのために、より視覚に訴えた情報サービス。市長Ⅱ三、現在、映像による広報は年二回実施している。そのほか新聞、雑誌などで政策および観光PRに努めている。

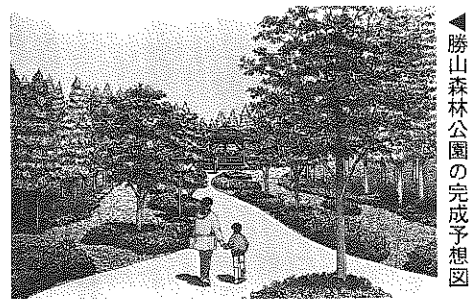
法恩寺山リゾートをはじめ恐竜の里づくり、平泉寺坊院跡など新しい観光資源が豊富であり、全国へアピールしていきたい。広域行政事務組合でも、テレビ、ラジオを使った観光PRの計画がある。今後も努力していく。

酒井議員Ⅱ四、勝山森林公園について、次の点を問う。

①、森林公園の全体計画について。

②、リゾート客だけのものとならないか。

市長Ⅱ四の①、平成四年度から二カ年で、県総合保養地整備推進事業で実施している。建設場所は、法恩寺山リゾート事業の中心部、スキー場エリアと施設エリアに囲まれた面積約十ヘクタールである。



施設の内容は、散策道が幅員二・五メートル、延長一・七キロ。広場は四箇所で約三千六百平方メートル、休憩所二棟、トイレ一棟、炊事場一棟、駐車場などを整備していく。

市長Ⅱ四の②、森林公園は市民も家族連れで楽しめるものにしていきたい。

酒井議員Ⅱ五、高齢化社会における交通事故対策について、次の点を問う。

①、歩行者と電動三輪車への安全施設整備について。

②、大仏近くの地下道をスロープに改築できないか。

市長Ⅱ五の①、主要幹線道路を中心に、歩道の新設や見通しを悪くしている街路樹や分離帯の花木を移植するなど、安全確保に努めている。

東縦貫線など主要幹線道

路で、横断歩道や信号機の設置を関係機関へ要望している。よりいっそうの安全対策を推進していく。

高齢者への安全対策では、シルバー交通安全推進員を委嘱して、地域に密着した安全対策を展開していく。都市建設課長Ⅱ五の②、四月から国道一五七号となるので、他市の地下道を研究しながら県へ要望していきたい。

少子化対策

について

岩見寿信議員Ⅱ一、少子化対策について、次の点を問う。

①、市の現状と今後の対応について。

②、助産費および乳児医療無料化（0歳児）の即時支給について。

市長Ⅱ一の①、今後の施策として「子どもが健やかに生まれ育つための環境づくり」が必要と考える。その一環として第四子以上の子への育成奨励金制度を設置している。四年度は十人が誕生した。また、三人目以上の保育所入所児童の保育料免除など、共に生きる人

づくりの第一歩をすすめてきた。

少ない子どもを、より大きく育てる施策を展開することで、子どもを持ちたくなるまちを目指していきたい。

教育長Ⅱ一の①、学校の児童・生徒数は、年々減少している。例として、北谷小学校は当分児童数が三人から、四人が続き、野向小ではこのままいくと複式学級が生まれるというさびしい状況にある。交流学习や全市あげでの合同行事の推進にあたっていく。

一方、勝山市における幼児教育についての検討委員会を発足させて、時代の変化に対応していきたい。

福祉事務所長Ⅱ一の②、乳児医療費の即時支給については、国・県の施策と整合性をとりながら前向きに検討する。

保健衛生課長Ⅱ一の②、市では、国保加入者に助産費二十四万円支払っている。即時支給については、他市の状況などを調査し、検討していく。

岩見議員Ⅱ二、公園などの砂場が汚染されている。その管理と衛生指導について問う。

都市建設課長Ⅱ二、都市公

園は二十四箇所あり、維持管理は直営のほか、委託して除草、清掃を実施している。関係地区には年二、三回の社会奉仕をお願いして美化に努めている。

不衛生、危険なところがないか常に点検し、相応の処置をしていく。犬の糞（ふん）などには看板などでモラル向上を図っていく。教育長Ⅱ二、幼稚園、学校の砂場は、学習の場であり施設の管理に注意してあつている。大腸菌などの調査も実施し、これまでの調査では人体に影響するものはなかった。それ以上に砂場での活動後の衛生指導に努めていく。

福祉事務所長Ⅱ二、保育所の砂場についても、点検し、管理指導していく。

岩見議員Ⅱ三、観光資源の有効利用について、次の点を問う。

①、観光客増に伴い、その受入れ体制の充実について。

②、北陸鉄道の観光バスルート開設への対応について。

市長Ⅱ三の①、当市は通過型の観光が中心であり、既存の観光資源がじゅうぶん活用されていないのが実情。法恩寺山リゾート事業は、一年を通じた滞在型として計画されている。このリゾー

トエリアを既存の観光施設と連携させ、波及効果を収取する必要がある。

リゾート事業の進展と併せ、広域的な観光資源の活用・整備と宿泊機能の強化などを国、県、関係機関の指導を得ながらすすめていきたい。

商工観光課長 三〇の②、広域的な観光PRもだいいじであり、北鉄バスの開通は歓迎する。今後、動向をみながら対応していきたい。

勝山病院の

移転先について

野尻佐太郎議員 一、福祉の森ゾーンと関連して、勝山病院の移転先は南部地域が適当と考える。場所の決定権はどこにあるのか問う。市長 一、勝山病院は、社会保険庁、国が所有し、経営は全国社会保険連合会が行っている。現在地に移転後三十余年経過し、改築を必要としている。さらに老人保健施設百床を併設する計画があり早急に改築したいと聞いている。

この問題は地域住民のコンセンサスと理解をいただくことが基本と考えている。

病院側は五階建てを計画しているため、現在地では建築基準法などの問題もあり、県と協議していくとのことだ。決定権は、国にある。市としても、一日も早く着工できるようにしたい。

野尻議員 二、大袋・北山工業団地における公害防止協定および下水処理の対応について問う。市長 二、団地の造成は、三月末で完了し、二、三社の進出を予定している。

完成後は、国、県の検査を受け、その後進出予定企業に事業計画書などの提出を求めていく。公害防止協定については、これまでの高島や保田工業団地と同様に協定書や必要に応じて覚書を締結し、公害防止に対処していく。

下水道については、勝山南大橋に圧送管を添架した。しかし、平成六年度の団地の一部操業開始には間に合わないため、浄化槽処理を願っている。

大型プロジェクト に対する県、市の 対応について

嶋田政憲議員 一、当面する大型プロジェクトの進捗

に関連して、次の点を問う。①、県と市の対応について。②、財政運用について。

市長 一、①、国、県の事業に対し、用地買収や物件移転など市も協力している。中部縦貫自動車道においても、県にじゅうぶん力を入れてほしいとお願いをしている。市長 二、②、市の財政は厳しい状況にある。反面、財源の重点配分で他の自治体に負けない活力あるまちづくりをすすめることがだいじと考える。今後のプロジェクト推進には、中期的な財源見通しを立て、将来に無理な負担をかけない許容範囲を見極め、事業計画の見直しも含めて策定していく。

嶋田議員 二、週休二日制における市民課など窓口業務の対応について。市民課長 二、今年一月から住民票や税証明書の交付は、電話予約により休日、時間外でも交付できるようにした。

戸籍事務は国の委任事務であり、印鑑証明書は個人の権利、財産にかかわるため電話予約による交付はしていない。

嶋田議員 三、潜在的な児童・生徒の非行防止につ

て。教育長 三、補導状況では、特に増加しているとはいえないが、今後も学校、家庭、地域、関係機関が連携をとって、青少年の健全育成に努めていく。

飲酒や喫煙などの指導も大きな課題であり、取り締まる以上に家庭、親の姿勢を改めてもらうことを強調したい。

嶋田議員 四、市街地の流雪用水の確保について。都市建設課長 四、積雪量が多くなると、水量不足が生じる。しかし、それぞれの用水の取水量には限度があり、今後は限られた水を効率的に利用するための流水の反復利用なども検討していきたい。

嶋田議員 五、酸欠事故防止など、消防署の装備の充実を。消防長 五、今回のような酸欠事故は今後も想定されるので、空気送風排煙機を購入する。予測される事故に対応した救助器具の整備を図っていく。

嶋田議員 六、法恩寺山スキー場開業に伴う救急業務の対応について。消防長 六、スキー場までの距離は十キロあり、所要時間は冬期で約十三分か

かる。大切なことは、救急車到着までの応急処置がなされることである。開業までに、会社に対し対応できるよう指導していく。

嶋田議員 七、都市計画用途地域の見直しについて。市長 七、用途地域は、機能的な都市活動が図られるように建築物の用途・形態などに一定の制限を加え、より良い市街地環境を誘導していくものである。市街地が拡大しつつあり、この動向への対応も大切となっている。

五年度は、県で都市計画基礎調査が実施され、当市の将来見通しの調査結果がでる。これらの結果をみながら見直しを検討していく。嶋田議員 八、市の機構改革が必要と考えるがどうか。市長 八、現時点では、現行の組織を充実しながら全庁体制で取り組んでいく。

嶋田議員 九、京福電鉄は廃線に強固だが、今後の取り組みについて問う。市長 九、「乗って残そう電車・バス」を合言葉に存続への努力をしている。こうした活動を会社にじゅうぶん認めてもらい、残す努力をしていく。

を

押印の 簡素化に向けて

市では、公共施設の使用申込書など押印を省略できるものは廃止し、行政サービスの上と事務の簡素化を図っていきます。

現在、市が処理している申請書は、約四百種類あります。今回、押印廃止を検討しているのは、法律で義務付けられているものを除く、スポーツ施設や市民会館などの使用申請書などです。

京福電車で行こう 動く！ふくい恐竜展

開催期間 ▽ 4月29日(木)～5月5日(水)
午前10時～午後6時

会場 ▽ 福井県産業会館(福井市下六条町)
JR福井駅から会場まで無料送迎バス(30分間隔)があります。

● 乗って残そう京福電車 ●



▲電車で討論会を開いた勝山JC

勝山青年会議所

何としてでも残そう。

車内で討論会

三月十七日、勝山青年会議所(山内澄理事長)は、京福電車内で存続に向けた車内討論会を実施しました。会員相互の存続意識を高めようと、初めて企画されました。

午後七時三分の勝山発電車には、会員五十人が乗車。窓には「乗って残そう京福電車」と書かれたスローガンが掲げられました。「利用者を増やすには、どのような存続運動を展開していくべきか」などについて話し合われました。

討論会では「廃線になると全国で、鉄道のない市は

勝山のほか一カ所だけ。観光都市を目指す市にとってはイメージダウン。市民一人ずつ回数券を購入したらどうか」とか「福井は駐車場が少ない。駐車違反を厳しく取り締まれば、電車の利用者は増える」、「バス路線と電車の接続を改善してほしい」など、活発な意見が飛び交いました。

山内澄(37)理事長は「元町二丁は、乗って残す運動は、まだ全市民に浸透してない。青年会議所が先頭に立ち、どんどん利用し、存続に向けて努力していきたい。私たちの行動が市民運動へと発展するきっかけになれば」と話しています。市でも、四月から回数券の二割補助を始めました。「乗って残そう運動」にご協力をください。

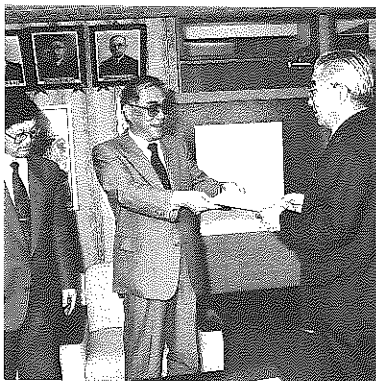
窓回サービスの一本化など 六項目を提言

総合行政審議会

三月二十五日、勝山市総合行政審議会(久保善央会長、委員十五人)から、行政機構の見直しなど六項目にわたる提言書が今井市長に手渡されました。

設置や市街地活性化担当部署の設置、京福存続運動、高齢者・身障者福祉、景観づくり、農業生産組合の組織化、未婚者対策などが提言されました。

今井市長は「これらの提言を尊重し、今後の市政運営に生かしていきたい」と述べました。



▲提言書を渡す久保会長ら

リフト付き

福祉タクシー

タクシー会社が配備

市内のタクシー会社に、リフト付き「福祉タクシー」が配備されました。購入したのは大福交通(中村雅彦社長)。県内では二台目、奥越では初めてとなります。ワゴン車を改造し、後部の機械式リフトを使って車



▲リフト付きの送迎バス(写真奥)と福祉タクシー

イスなら二台分、それに移動式ベットも一台備わっています。補助者は四人までが同乗できます。寝たきりのお年寄りや車イス利用者にとって、この福祉タクシーは朗報となりました。市では、福祉の住みよいまちづくり事業の一環として、購入費の三分の二を補助しました。

デイサービス事業に リフト付きバスを購入

市は、デイサービス事業の送迎バスを六百七十八万円で購入し、二月に運営を始めたデイサービスセンター「九頭竜」へ運営委託しました。

車イス三台と乗車人員十四人で、車イスは後部のリフトで昇降できるよう改造してあります。

老人保健医療費

一部負担金が 変わりました

四月一日から、老人保健制度の改正により、老人医療の自己負担金の一部変更となりました。

● 外来、通院の場合

一カ月 千円
(旧九百円)

● 入院の場合

一日 七百元
(旧六百円)

くわしくは保健衛生課国民健康保険係(☎88-1111内線261番)へお問い合わせください。

合併処理浄化槽設置

八十五万四千円までを補助

市では、し尿と家庭雑排水(台所や風呂場など)を同時に処理でき、川にやさしい「合併処理浄化槽」の設置に対し、昭和六十三年から補助制度を実施しています。これまでに四十八基の合併処理浄化槽が補助を受けて設置されています。

平成五年度から、「国の補助指針」に適合した合併処理浄化槽だけが補助の対象となる地域は対象にありません。ただし、公共下水道認可地域内であっても、当分の計画のない地域は対象に

《補助対象者》

公共下水道認可区域外、農業集落排水事業区域(栃神谷・薬師神谷地区)外にある一般家庭および商店。ただし、公共下水道認可

槽の大きさが決まります。五人槽 三十三万九千円 六〜七人槽 四十九万四千円 八〜十人槽 八十五万四千円

間下水道の本管が埋設される計画のない地域は対象に

五年途中で設置を希望する人は、五月七日(金)までに保健衛生課へ事前申し込みをしてください。事前申し込みをした人に対し、内定通知と正式申請書の用紙を後日送付します。

ただし、希望者が多数の場合、次年度まで待っていただくこともあります。

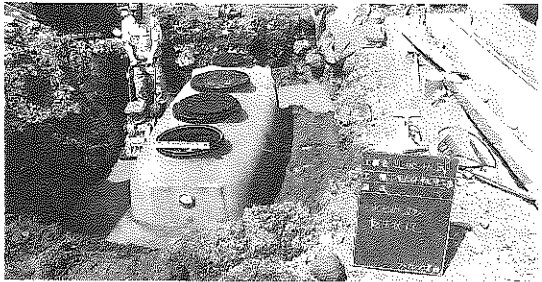
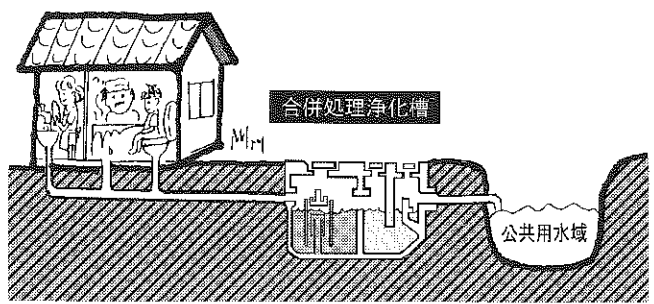
《申し込み方法》

《補助額》

家の面積の大きさなどで補助額が異なります。

《注意事項》

国の補助指針に適合した合併処理浄化槽であること。国の補助指針に適合した工事施工および市排水設備工事施工基準などの制約があります。



▲ 浄化槽の設置工事

工事施工前には、必ず保健衛生課環境衛生係(☎88-1111内線264番)へ問い合わせしてください。



Q 合併浄化槽のいいところは何?

A 下水道の終末処理場並みの処理能力があり、生活排水の汚れの九〇%以上を除去します。小河川の浄化を図ることができます。

Q 工事費はどのくらいかかりますか?

A 十人槽の場合、設置工事、配管工事、標準便器購入など含めると約二百万円ほどかかります。この補助制度は単独浄化との差額分として、八十五万円四千円を補助するものです。

Q 維持管理とその費用は?

A 法定点検(年四回)および法定検査(一回)、汲み取り料を合わせると年間約十万円程度。ひと月あたり九千円程度の維持管理費が必要となります。

重度医療の対象を拡大 65歳以上の 重度心身障害者 医療費を無料化

本人および扶養義務者の所得制限があります。

●新たに対象となる人
勝山市在住の満六十五歳以上の人で、次に該当する人です。
身体障害者手帳Ⅱ一級から三級の所持者
療育手帳ⅡA判定およびB判定の一部

●登録期間
四月一日からこの制度を受けるには五月三十一日までに登録手続きが必要です。
●登録手続きに必要なもの
・身障者手帳、療育手帳
・加入保険証
・本人名義の預金通帳(郵便局を除く)
●印鑑
問い合わせは福祉事務所保護係(☎88-1111内線503番)へ。

パスポートの申請 奥越合同庁舎でもできます

四月一日から、一般旅券(パスポート)の申請・発給を奥越合同庁舎内(大野市友江)の大野県税事務所総務課でも扱っています。開設時間は、月曜日から金曜日の、午前九時から午後四時半までです。

従来の県庁内、国際交流課旅券外事係のほか、県内の各合同庁舎に、窓口業務が拡大され、受取場所も、希望の窓口でできます。くわしくは、発給窓口の大野県税事務所総務課(☎65-1280代)へ。

行政窓口サービスのご案内

住民票などは、
休日や時間外でも
交付します

一月から、住民票および納税証明書、資産評価証明書、所得課税証明書に限り、電話予約で休日、時間外に交付しています。
住民票や納税関係の各種証明証のお渡しは、宿日直者が行います。

●電話予約および受け取る
ことができる人
本人または同一世帯の人。
●電話予約の方法
通常勤務時間内(月)金
午前八時半から午後五時)
に、住民票は市民課。納税
証明証などは、税務課へ電
話予約してください。

●受け取る場所
いずれも、市役所宿日直
室です。(市役所裏玄関か
らお入りください)

手数料徴収条例が一部改正され、4月1日
から50円から100円幅で引き上げられました。
(市民課窓口)

手数料の種類	単位	金額(円)
住民票の写し	1件	300円
住民票等記載事項証明	1件	200円
戸籍附票の写し	1件	300円
身元(分)証明書	1件	300円
外国人登録済証明書	1件	300円
埋、火葬許可書の写し	1件	300円
印鑑登録証明書、印鑑手帳	各1件	300円
住民基本台帳の一部の写し閲覧	1枚	150円
税証明書	1件	300円
公簿等閲覧	1件	150円
前各項以外の証明書等	1件	300円

四月から
交付手数料が変わりました

公共施設の使用料も

●ふれあい会館(勝山温泉センターに併設)

これまで、2階の視聴覚研修ホールは無料でしたが、
4月から下記の使用料金をいただきますので、ご了承ください。

施設区分	単位	料金
視聴覚研修ホール 土・日・祝日は除く	午前11時から午後3時30分	6,000円
	午後4時から午後8時	6,000円
	全日	15,000円

93 国際青年の船

県では、国際青年の船、
婦人の船など海外派遣の団
員を募集しています。
県内で活動する青年たち
に、自立と成長の機会と新
たな発見の場を提供します。

平成5年度 国際交流事業

海外派遣団員
を募集

日程▽7月31日(土)▽
8月12日(木)の13日間
行先▽ロシア、ウズベキ
スタン、フィンランド、
ドイツ、デンマーク
資格▽18歳から30歳まで
の男女。ただし、高校生
は除きます。指導者は、
31歳から40歳まで。
人員▽県内で71人。指導
者は5人。
負担金▽23万6,000円
▽37万円

希望者は、いずれも
4月26日(月)までに
教育委員会へ申し込ん
でください。市で選考
して県へ推薦し、決定
されます。
くわしくは教育委員
会生涯学習課(☎88-
11111内線482番)
へ。

93 国際婦人の船

日程▽7月31日(土)▽8
月12日(木)の13日間
行先▽ロシア、ドイツ
資格▽31歳から60歳まで
の婦人
人員▽県内で27人
負担金▽33万円

第14回
近畿青年洋上大学
日程▽8月7日(土)▽
8月19日(木)の13日間
行先▽中国、韓国
資格▽20歳から30歳まで
の男女。指導者は、31歳
から40歳
人員▽一般団員30人。指
導者は2人
負担金▽一般団員16万円。
指導者9万円

参加者募集

加者が優先されます。
 問合先 県庁、県民相談室
 (☎0776-21-1111代)

申し込みは、必ず往復ハガキでお願いします。
 日時 5月21日(金)
 勝山市役所裏口玄関前

午前8時30分出発
 コース 原子力センター、園芸試験場、レインボーライン、三方石観世音

参加費 無料
 申込先 往復ハガキに住所氏名、年齢、電話番号、出発日、出発地を書いて

〒九一〇福井市大手三丁目十七の一「県民相談室」あてへ。
 定員 勝山、大野市で52人(先着順ですが、初参

「4年度の確定保険料」と「5年度の概算保険料」を5月17日(月)までに最寄りの金融機関に申告・納付してください。
 期限までに申告・納付されない場合は、保険料を政府が決定し、追徴金の徴収を受けることがあります。
 期日を厳守してください。
 4月1日から労働保険の雇用保険料率が〇・一%引き下げとなっています。

申告相談日

次の日程で申告相談所を開設します。お気軽にご相談ください。
 日時 4月20日(火)
 午前9時30分～午後4時
 会場 奥越地域産業振興センター

受講生募集

市ボウリング連盟では、次の日程でボウリング教室を開催します。
 日時 4月8日から5月27日まで。毎週木曜日。午後7時30分から9時。

受講生募集

ジュニア・テニススクール
 期間 4月から平成6年3月まで。毎週水・木・金・土曜日。
 時間 午後7時から9時まで。ただし、第2土曜日は、午前9時から11時雨天中止。
 会場 市営コート
 (第1・3・4土曜日は、勝山温泉センターコート)
 11月からの会場は、市営体育館、勤労者体育館に変更となります。
 対象 小学3～6年生、中学生
 定員 30人
 受講料 月額700円、ほかスポーツ安全保険年間400円。
 申し込みなど、くわしくは体育課(☎88-11111)代へ。



市民投句

(敬称略)

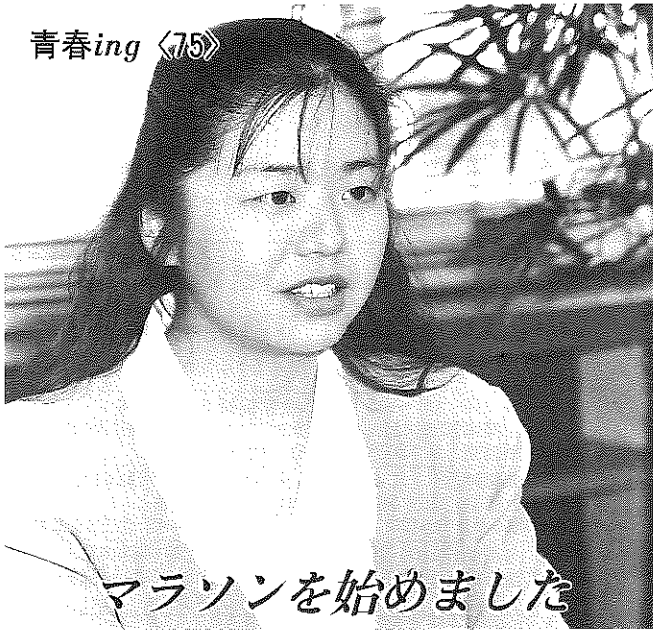
N響室内楽シリーズ第3弾
徳永二男
ヴァイオリンリサイタル
 主催 * Andante
 と き 5月30日(日) 午後6時30分開演
 と ころ 市民会館大ホール
 入 場 料 3,000円(全自由席)

《演奏曲目》
 ヘンデル：ヴァイオリンソナタ第4番
 フランク：ヴァイオリンソナタ
 ラヴェル：ツィガークヌ
 チャイコフスキー：メディテーション
 サラサーテ：カルメン幻想曲
 ピアノ演奏は小森谷裕子さん
 《プロフィール》
 徳永二男(とくながつぎお)さん
 1946年横須賀生まれ。現在は、NHKコンサートマスターとして活躍。室内楽やソリストとして演奏活動をされている。国立音楽大学客員教授。
 チケットは、勝山サンプラザほか各プレイガイドで前売り券を販売しています。
 ◆問合先は教育委員会生涯学習課(☎88-11111内線482番)へ。

輪になって打てやひびけ山越えて
 幼な顔奇祭に映えるばちさばき
 曲打てず櫓の土間で冷の酒
 ひよっとこの春呼ぶ響き山おこし
 あんどんを読みてるほどと苦笑い
 息災の祈りも集め炎起つ
 太鼓たたく音高らかにこだまする
 鮮やかな枹打つ子等に酔いしびれ
 春近い児等の笑顔はバチに浮く
 バチの音天までとどき春がくる
 チビ子も可愛く浮かれ春を打つ
 伝統を素直に守るバチさばき
 法恩寺山にもひびけたいこの音
 チャマツ子にいい想い出の枹さばき
 華やかな櫓の音色春近し
 浮かれ太鼓伝統受ける子の熱意
 どんど焼き乳房のように餅膨れ
 伝統の左義長祭り末ながく
 左義長風刺あんどん苦笑い
 伝統の蝶や花よと春を待つ
 二十一世紀へ確かに届けよう笛太鼓
 あどけない童のバチが春を打つ
 ひよっとこの面が腰かけうき太鼓
 ういたういたと日の暮れるなり
 西野はじめ 栄町三
 (題は、三月号表紙から。毎月二十日締め切り)

岩谷紀子 沢町一
 田上滋良 郡町二
 大角吉栄 元町一
 丹後胆詳 田名部
 上山ミヨノ 長山町一
 立平尚平 昭和町三
 竹原文夫 片瀬
 丸山文子 片瀬
 森景かつ 元町二
 平田ミヨ子 片瀬
 森下きぬ子 郡町一
 牧野信弥 栄町三
 高野友子 旭町一
 中村範子 本町二
 佐々木弥太郎 木根橋
 土谷花子 本町四
 永井はる 昭和町一
 長谷川鹿雄 昭和町三
 石塚和代 北宮地
 景利勇子 本町二
 笠松定子 本町一
 宇佐美春子 東蓮羽口

青春ing <75>



マラソンを始めました

「最近がんばっているのがマラソンです」と吉村さん。昨年、友人との福井マラソン参加が、走り始めるきっかけとなりました。会社勤めの吉村さんにとって練習時間はいつも夕方。「うす暗い道を走るのほども怖い。本格的なジョギングコースがあれば」と望んでいます。

冬になればスキーにも熱中。週一回は遠く県外へ足を運んだそうです。「法恩寺山スキー場は西日本と聞きました。地元立派なスキー場ができるのはとても嬉しいし、自慢のたね」と話しています。

「勝山の好きなところは自然に恵まれて素朴なところ。いつまでも自然豊かなまちであってほしい」と郷土に寄せる思いを語ってくれました。

吉村節子さん(24) 滝波町四丁目

越前信用金庫勤務

国民年金だより

今春、就職された皆さんへ 国民年金手続きを忘れないで

今春、大学や専修学校を卒業し、会社などへ就職された皆さんは、国民年金の手続きが必要です。年金の種類が「第一号被保険者」から「第二号被保険者」に変わるためです。市役所市民課年金係へ年金手帳と印鑑を持って、「種別変更(資格喪失)届」の手続きをしてください。

年金手帳を たいせつに

なた自身の国民年金や厚生年金保険の記号番号が記載されており、この番号で、年金の加入期間がわかるようになっています。将来、年金を請求するときはもちろん、いろいろな届け出をするときにも必要となりますので、たいせつに保管してください。

国民年金 基金からの お知らせ

福井県国民年金基金は、平成三年五月一日に設立され、基礎年金に上乗せして、より豊かな年金を保障する新しい年金制度です。現在、県内で四千五百人が加入しています。

この年金基金は、掛け金が安く、また税制面での優遇措置があり、節税効果にたいへん魅力ある制度となっています。

次の日程で、国民年金基金の説明と加入受け付けを行います。ご利用ください。

日時 四月十八日(日)
午前十一時から午後三時
場所 勝山市市民市場ハッピー内の特設会場

手続き国民年金手帳と預金通帳の認印があれば、加入手続きができます。

相談員 福井県国民年金普及相談員 金井茂夫さん

市内企業の求人情報

(3月16日現在)

No.	職 種	求人数	年 齢	賃 金	事業所・勤務地
1	燃糸準備工	女2人	45歳以下	109,200円 ~136,500	丸和燃糸工場 昭和町2丁目
2	自動車整備工	不問 2人	18~45	120,000 ~300,000	玉木自動車 滝波
3	整経準備	女2人	20~55	133,000 ~138,000	新興 本郷
4	電 工	男2人	18~50	130,000 ~250,000	松山電設 旭町1丁目
5	菓子製造	不問 2人	25~60	130,000 ~150,000	観山 東野
6	販 売 員	男2人	18~50	140,000 ~200,000	佐々木酒造 本町4丁目
7	事 務 員	不問 2人	20~40	150,000 ~200,000	豊栄建設 昭和町1丁目
8	ミシン掛け	女5人	15~48	103,000 ~130,000	鳥山縫製 元町3丁目
9	配達整理員	不問 1人	18~45	160,000 ~170,000	和田金物 栄町1丁目
10	運 転 手	男2人	18~35	160,000 ~180,000	勝山自動車 滝波

くわしくはハローワーク勝山(☎88-1286)若しくは商工観光課(☎88-1111・内線272番)へ。

生活不用品 情報

■譲ります(提供品)
婦人用皮コート、農業用モーター、足踏みミシン、腰かけ、ガラステーブル、木製机、冷風除湿機、本棚、エレクトーン、二人乗り用乳母車、コンピラック、日本人形、シルバークロム編み機、ベッドメリー、サッカー靴(二二センチ)、編み機、自転車、衣類乾燥機、鷹のはく製(ケース付き)大人用三輪車、スキー、セミダブルベッド、ネプライザー、

■譲ってください(希望品)
男児自転車(高学年専用)ピアノ、まきストープ、トランペット、卓球台、手押し車、電子ピアノ、一六インチ男児自転車、子ども三輪車、乳母車、ワープロ、ベビーカー、自転車、ぶらさがり健康器、テレビ、テーブルコーダー、ソファ、チェア、ドシート、ダブルベット、製図用ドラフト、食卓、箱型ごときり、うすときね、水中ポンプ、学習机

問合せ先は、消費者センター(企画開発課内☎88-1111 11内線237番)

市民カレンダー

'93 4/14(水) ~ 5/18(火)



人口の動き

(3月1日現在の住民基本台帳による)

男	14,610人	前月比(+4人)
女	15,556人	前月比(+1人)
計	30,166人	前月比(+5人)
	7,768世帯	前月比(+3)

発行 福井県勝山市 編集 秘書広報課 住所 千九一 福井県勝山市元町一丁目一〇七七八八二二二(代)

14水	巡回人権・行政相談 13:30~16:00 北郷公民館 心配ごと相談 10:00~12:00 教育福祉会館	5水	こどもの日 GS 勝山商事(滝波) 酒井商店(元町) 笹木石油(長山)
15木	機能訓練事業 13:30~15:00 教育福祉会館	6木	機能訓練事業 13:30~15:00 教育福祉会館
16金	結婚相談 10:00~15:00 教育福祉会館 健康体操教室 9:30~11:00 教育福祉会館	7金	結婚相談 10:00~15:00 教育福祉会館 3歳半児健康診査(H2.4月生まれ) 13:00~ 勝山保健所 健康体操教室 9:30~10:30 教育福祉会館
17土	市役所土曜閉庁	8土	市役所土曜閉庁 子ども広場 9:00~ 弁天河原緑地公園 アニメ上映会 15:30~16:00 市立図書館 絵本読み聞かせ会「おはなしでこい」 14:00~14:45 市立図書館
18日	田 竹下中央内科医院 ☎88-1121 GS 竹内石油(勝山) 勝山商事(小舟渡) 大勝(昭和町) 家庭の日 「水や草花をたいせつにし美しい花を咲かせよう」	9日	GS 竹内石油(勝山) 勝山商事(小舟渡) 大勝(昭和町) 勝山成器断酒会例会 13:30~15:00 教育福祉会館 アニメ上映会 13:30~14:00 市立図書館
19月		10月	
20火	献血 10:00~12:00 オレンジ勝山店前 献血 13:00~15:30 平泉寺白山神社前	11火	
21水	心配ごと相談 10:00~15:00 教育福祉会館 人権・行政・交通事故相談 10:00~15:00 教育福祉会館 社会保険相談 10:00~15:00 勝山商工会館	12水	心配ごと相談 10:00~15:00 教育福祉会館 (弁護士による法律相談併設)
22木	機能訓練事業 13:30~15:00 教育福祉会館	13木	機能訓練事業 13:30~15:00 教育福祉会館
23金	1歳半児健康診査(H3.10月生まれ) 13:20~ 教育福祉会館 健康体操教室 9:30~11:00 教育福祉会館	14金	健康体操教室 9:30~10:30 教育福祉会館
24土	市役所土曜閉庁 アニメ上映会 15:30~16:00 市立図書館	15土	市役所土曜閉庁
25日	田 勝山病院 ☎88-0350 GS 三谷石油(勝山) 農協(中央) 酒井商店(大仏前) アニメ上映会 13:30~14:00 市立図書館	16日	GS 三谷石油(勝山) 農協(中央) 酒井商店(大仏前)
26月		17月	
27火		18火	
28水	心配ごと相談 10:00~12:00 教育福祉会館		
29木	みどりの日 田 勝山病院 ☎88-0350 GS 大勝(滝波) 酒井商店(伊波) 勝山商事(沢) 農協(南)		
30金	健康体操教室 9:30~10:30 教育福祉会館 納期限 固定資産税1期分(全納) 軽自動車税全期		
5/1土	市役所土曜閉庁		
2日	GS 酒井商店(芳野) 農協(北) 大勝(バイパス)		
3月	憲法記念日 GS 全店営業		
4火	国民の休日 GS 全店営業		

編集後記

▼総勢百十八人の人事異動も終え、新しい予算での仕事が始まりました。
▼例年四月号は、新年度予算特集と議会報告が重なるため、紙面は寿司詰め状態に。これからの市政の動きを知る上で、目を通していただければと思います。
▼一枚の表紙写真から始まったおつきあい(市民投句)も、少しずつ輪が広がります。うれしく思っています。県外からの投稿もお待ちしています。

▼桜前線も北上し、十日過ぎには弁天桜も見ごろとなりそうです。弁天桜並木を大渡まで延長する計画も着々とすすんでいます。今月十四日に開通する勝山南大橋と併せ、新しいまちの顔が誕生するのもさう遠くではないようです。



火災発生の問い合わせ
(テープ) ☎88-5100
(吹き込み)

田は休日救急当番医 診察時間は午前9時から午後5時までです。
問い合わせは、市消防署☎88-0400へ。5月以降は未定です。
GSは日曜給油当番